



<来週の資金需給予想とイベント予定>

(単位：億円)

日付	資金需給予想			主な要因	オペ期日	オペスタート	イベント
	銀行券要因	財政等要因	資金過不足				
3/24 (月)	▲ 300	+ 4,000	+ 3,700	国庫短期証券発行償還 (3M)	国債補充供給 + 6,700		欧：ユーロ圏製造業・サービス業・総合PMI (3月)
3/25 (火)	+ 1,000	+ 30,000	+ 31,000	各種財政資金の支払い			日：日銀金融政策決定会合議事要旨 (1月23・24日分) 米：消費者信頼感指数 (3月)
3/26 (水)	トン	▲ 3,000	▲ 3,000	流動性供給			
3/27 (木)	▲ 500	+ 8,300	+ 7,800				米：GDP (4Q、確定値)
3/28 (金)	トン	+ 11,000	+ 11,000	国債発行 (40年) 各種財政資金の支払い			日：日銀政策決定会合における主な意見 (3月18・19日分) 米：PCE価格指数 (2月) 欧：ユーロ圏消費者信頼感指数 (3月)

<インターバンク>

日銀当座預金残高は週初、前営業日対比4兆9,700億円減少の5兆1兆7,500億円から始まった。その後、国債償還等の要因により増加し、21日は5兆2兆2300億円 (速報) で越えた。

無担保コールON物加重平均金利は週初0.477%から始まった。その後もビッドサイドの調達意欲は底堅く、同金利は横ばい圏で推移した。

ターム物は1W~3W物0.483%~0.65%のレンジ、1M~3M物0.55%~0.65%のレンジで出合が見られた。

来週の予定は、国内では25日に日銀金融政策決定会合議事要旨 (1月23・24日分)、28日に日銀金融政策決定会合における主な意見 (3月18・19日分) が公表される。海外では27日に米GDP (4Q、確定値)、28日にユーロ圏消費者信頼感指数 (3月) の公表などがある。

[無担保コールレート]

	予想レンジ (%)
O/N	0.47 ~ 0.478
1M	0.55 ~ 0.70
2M	0.55 ~ 0.75
3M	0.58 ~ 0.80
6M	0.65 ~ 0.90

<レポ>

足許GCは週を通して+0.48%~+0.50%のレンジで推移した。金融政策決定会合の2日目となる19日および3M短国の発行があった21日も水準に変化は見られなかった。SC取引は2年460~468回債、5年155~177回債、10年355~370回債、20年110~130回債などに引合いが見られた。

[オープン市場]

	予想レンジ (%)
現先 (on/1w)	0.40台
CP 3M	0.60 ~ 0.65

<CP>

今週の入札発行総額は約9,600億円で、週間償還額の1兆5,500億円を下回った。発行残高は先週末時点の2兆8,221億円から、3月19日時点で2兆8,993億円に増加した。発行市場は、機械、化学、鉱業、不動産業などで大型の発行案件が見られた。入札案件の発行レートは、a-1格相当の1か月物で0.50%台前半、3か月物で0.60%台前半から0.60%半ばでの発行気配が見られた。

来週の償還額は、5兆6,000億円 (うち月末償還4兆2,200億円) となっている。発行市場は、一般事業法人の決算期末に向けた有利子負債圧縮の影響で、大幅な償還超が見込まれる。発行レートは、1か月物で0.50%台前半、3か月物で0.60%台前半から0.60%台半ばと横ばい圏での出合いを予想する。

<TDB>

18日の1Y (1294回債) の入札は、最高落札利回り0.6275% (前回債0.6228%)、平均落札利回り0.6184% (前回債0.6107%) となった。

21日の3M (1295回債) の入札は、最高落札利回り0.2990% (前回債0.3131%)、平均落札利回り0.2898% (前回債0.3070%) となった。

来週の入札は28日に3Mが予定されている。